

とくしま産学官連携プラットフォーム 2021年度 実施状況報告書

1. 各ワーキンググループの年度計画の達成度			
	第1WG	第2WG	第3WG
取組内容	3	3	3
年度計画	3	3	3
※達成度(4段階): 4(計画を上回って実施)、3(計画通り実施)、2(計画を下回って実施)、1(未実施)			
2. 各WGにおける優れた点・特色ある点、今後の課題			
	第1WG	第2WG	第3WG
特色ある点	<p>①共同のYouTubeチャンネル「とくしま丸ごとキャンパスガイド」を開発し、参画高等教育機関の魅力を県内外に発信。</p> <p>b-②徳島大学において、新たな教育プログラムであるエクスターンシップを、7月から12月の間に開講</p> <p>b-④ COC+R事業参加校で単位互換に関する協定(7月27日付け)を締結し、令和3年度後期から9科目を対象科目とした。</p>	<p>b-③各高等教育機関において健康改善プログラムに取り組むとともに新規プログラムを開発した。</p> <p>b-⑤地域の課題解決をテーマとしたフィールドワークについて事前調整の上、4高等教育機関9名、高等学校1名で実施。</p>	<p>a-①共同IRの実施について、県内高校4校の3年生を対象にした意識調査の他、新たに参画高等教育機関の卒業年次学生を対象とした意識調査を共同で実施した。</p> <p>b-⑥地域人材育成をテーマとした共同FD・SD研修会を2回実施した。</p> <p>c-②徳島県中小企業団体中央会と連携した産業界のニーズに対応したリカレントプログラムを作成した。</p>
今後の課題	<p>a.) ①、②コロナ禍における、対面での相談会への参加。③県内大学等の連携であるため、参加しないといけない。</p> <p>b.) ①、②コロナ禍における学生への周知及び参加企業の確保。⑥オンラインによる開催は困難。</p> <p>c.) ①留学生サポートセンターについて、さらなる周知に努める必要がある。③各高等教育機関の就職先ニーズが異なる中、各機関独自の就職支援と共同での支援をどう組み合わせるかが課題。</p>	<p>a.) ①光産業分野の共同研究が活発になる一方で、③・⑤については、KPI達成のため、さらなる推進が必要である。</p> <p>b.) ⑤について、今年度は構想段階で終わった事業もあるので、来年度に向けて具体化を進める必要がある。</p> <p>c.) ①について、さらに多くの高等教育機関からの学生参加につなげる必要がある。</p>	<p>a.) ③サテライトオフィスの共同利用について、自治体等のステークホルダーも交えて利用方法や条件等を検討すること。</p> <p>b.) ①、②、③小中高のニーズを捉えたプログラムの開発と回数の拡大。</p> <p>c.) ①、②ニーズに対応したプログラムの開発と回数の拡大。</p>
3.実施状況を踏まえたワーキンググループ運営に関する課題と改善策			
<p>《課題》</p> <p>①各WGの開催回数が少なく、施策の検討が十分に進められていない。</p> <p>②各WGに割り当てられている事業費について、新規取組でない場合には予算計上が認められないなどの制約があり、従来の財源元の方針転換や予算縮小等の事情により事業継続が困難な取組項目が発生している。</p>			
<p>《改善策》</p> <p>①中長期計画委員会において、各WG毎に開催月数を申告するよう決定した。</p> <p>②中長期計画委員会において、各WGに割り当てられている事業費の運用について、既存事業への予算補填も可能になるよう規則の変更を行った。</p>			
4.その他(評価・検証部会への報告事項等)			